

科目名	技術者倫理			担当教官	井上 斌, 内田 由理子, 細谷 守		
学年	専攻科 1 年	学期	前期	履修条件	必修	単位数	2 単位
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	07AG1_20030		
学習目標	技術者として身につけるべき倫理規定, 法, 規約等を理解し, 専門職の役割には責任や義務の伴うこと, その影響が自然や社会に及ぶことを, 実際に生じた事例を通して学習し, 技術の使命が人々の生活の向上や社会的貢献にあり, 環境への配慮や世代間倫理の確認を通して, 技術者としての倫理的責任を自覚し, 考える習慣を身につける。						
進め方	教科書, 資料によって主に講義形式で授業を進めるが, また各自が工学倫理について理解を深めるために, 討議を行うことや, レポート提出もさせる。資料を得るには, インターネットが非常に役立つので, 随時ウェブの検索等も行わせる。また応用倫理として, 生命, 環境, ビジネス, 情報についての倫理の理解を進める。						
履修要件							
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. 技術者倫理とは (2)			倫理概念, 工学の倫理概念等についての知るべきことを学ぶ A1:1, A2:1, A2:2			
	2. 専門知見の研鑽 (2)			倫理綱領から技術者として心がけることを学ぶ A1:4, A2:4, A3:3			
	3. 事故より学ぶ (2)			母子死傷事故, ポパール事故等を取り上げ, 何が問題であるかを学ぶ A1:4, A2:2, A3:1			
	4. 組織における倫理観のあり方 (2)			チャレンジャー事故等を通して技術者が心がけることを学ぶ A1:3, A2:3, A3:2			
	5. 持続可能な社会づくりの一員としての技術者あり方 (2)			技術者倫理が他の応用倫理学と深く関連していることを確認する A1:2, A3:4			
	6. 安全性と設計 (2)			安全性を確保のために, 設計の段階において配慮すべきことについて学ぶ A1:1, A2:2			
	7. 消費者を守る責任 (2)			消費者の安全性についての具体的事例について学ぶ A1:4, A2:4, A3:1			
	8. 製造物責任について (2)			製造物責任法について, 設計上, 製造上, 指示・警告上の欠陥を防ぐことについて学ぶ A1:4, A2:4, A4:3			
	9. 知的財産権について (2)			知的財産権と技術との関連について学ぶ A1:3, A3:2, A3:4			
	10. ビジネス倫理について (2)			不正競争防止法について, 及び専門職と公衆の福利優先について学ぶ A3:3			
	11. ビジネス倫理, 経営の倫理について (2)			技術者の公正中立の責任について学ぶ A2:1, A2:3			
	12. 企業の社会的責任について (2)			専門的技術の影響と倫理について学ぶ A1:1, A1:2, A2:1, A2:2			
	13. 雇用者の責任について (2)			技術者の組織・雇用者への忠誠と不服従・内部告発について学ぶ A1:3, A2:4, A3:4			
	14. 経営を視野に入れた技術者のあり方 (2)			組織の中での専門技術者の判断の重要性を学ぶ A1:4, A2:4, A3:4			
	15. 社会制度を視野に入れた技術者のあり方 (1)			情報の開示及び技術者のモラルに関して学ぶ A1:3, A1:4, A2:1			
	16. 期末試験 (1)			技術者倫理の考えを総括する			
評価方法	期末試験 60%, レポート 30%, 平常点 (出席率, 授業態度等) 10% の比率で総合評価する						
関連科目	倫理社会, 政治経済, 哲学, 法学, 歴史など						
教材	教科書 : 齊藤 了文 著「はじめての工学倫理」 昭和堂 適宜, プリントを配布						
備考							